

知財ist研修2017シラバス

【知財ist研修2017】	
課程	創造課程
科目	知財への取組みにおける創造の役割と活用 2日間 ～開発者を支える「知財担当者の創造力」と、気づきを知財に変える「開発者の創造力」の事例と演習～
副題	【1日目】創造の基本的な考え方 体験、活用
日程	2017年9月7日（木）10:00～17:00
講師	（一社）全国知財創造教育協会 代表理事 籠原 裕明 氏
受講料（1日間）	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間）会員500,000円、一般600,000円 創造課程2日間おまとめ受講料（2日間）会員34,000円、一般42,000円 ※本科目は、2日間連続受講をお勧めしておりますが、1日毎の受講も受け付けております。
説明	<p>企業における知財への取組みの中で、知財の源泉である「開発者の創造力」はもちろん大切な力ですが、実は、その成否を左右するカギとして、開発者を支える「知財担当者の創造力」が挙げられます。本創造課程では、こうした知財を生み出す「創造」のシーンで求められるモノの「見方・考え方」について、基本部分から展開部分までの体験・演習を交えた解説により、知財担当者・開発者それぞれに求められる「創造力」の理解・習得を図ります。知財担当者、および開発者のために2日間を通じて研修していきます。</p> <p>1日目には、知財創造教育の第一人者であり企業で知財活用の業務に携わる籠原氏により、「創造」の基本的な捉え方、発想体験演習や活用事例などを通じ、その考え方を学びます。2日目には、弁理士でありながら製品開発も行う川北氏により、自身の開発者経験を踏まえた形で、審査基準に基づく「発明の進歩性」のアップの秘訣、発明を生み出す「課題」の重要性、特許にできる発明を創り出す手法などを、事例紹介や知財担当者が遭遇する場面を想定した演習を通じて学びます。創造力を身につけて開発者から頼りにされる知財担当者を目指しましょう！</p>
レポート、演習の有無等	レポート課題はございません。 講義時間中に演習を行います。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、8/31までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。 （ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

知財ist研修2017シラバス

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>●創造の基本的な考え方 体験、活用</p> <p>1 はじめに (1) 激動する社会とこれから求められるものとは (2) イノベーションの歴史を振り返る (3) 創造をどのように捉えるか</p> <p>2 基礎的な発想体験 (1) ものの見方 (2) 頭の体操 (3) 簡単な創作体験 (4) 創作体験を深める (5) 産業での活用事例と製作</p> <p>3 実践的な発想体験 (1) 実践的な創造力を目指して (2) 発想法の体験 (3) 創造力を発揮する力を身につけ、支える背景づくり</p>	<p>4 知的財産制度における創造の役割と事例（事例を通して） (1) 個人の発想力が会社を支える (2) 創造力を生かした戦略的ものづくり (3) 知財力はどこで勝負するのか</p> <p>5 まとめとして</p>
<p>参考書籍等</p>		
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の知財教育（技術者向け）に活用できそうなネタがあって有効だった。 ・創作体験が面白くためになりました。 ・思考方法など知らないことも多く、面白かった。 ・具体例が多く楽しい内容である。 	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。 ・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。 ・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。但し本研修は、演習も行いますので、音声のみを聴講されても分かりにくいこともあるかと思います。実際にご出席いただくことをお勧めしております。CDについては、事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。） 	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本創造課程は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。創造課程2日間を連続受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、11単位が認められる予定です。</p>	

2017.8.18